

第16回全国大会・研究発表会

ベストペーパー賞 受賞記

文教大学 川合康央

この度は、ベストペーパー賞（BP 賞）にご選出いただき、誠にありがとうございました。本大会においてこのようなご評価を頂けたこと、大変うれしく思います。また、オンラインという形式の中で、このような発表の機会をご準備いただいた皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

本研究は、「自動車アルゴリズム開発のための仮想市街地環境の整備」というタイトルで発表させていただいたものとなります。これまで研究室では、都市災害シミュレーションの研究を行っていましたが、これを自動車アルゴリズム開発に応用できないかとお声がけいただいたことが、本研究のきっかけとなります。自動車システム開発では、実車試験は高コストとなるため、仮想空間を用いたシミュレーション開発が行われています。一方、仮想シミュレーション環境自体にも多大なコストが必要であるため、安価で利用できるシミュレーション環境を構築し、システム開発に参加できる企業を増やしたいといったご要望を受けました。本研究では、国土地理院のオープンデータとゲームエンジンなどによる安価な開発環境を組み合わせ、自動車システム開発に必要な情報を備えたシミュレータを低コストで開発したものとなります。今回発表したシステムは、メーカーの展示会でもご活用いただきました。学生とともに開発した情報システムの成果を、実際の産業と結び付けることができたことは、研究室にとって貴重な経験となりました。

また、質疑でもご指摘いただいたように、今後さらに様々な用途への展開を考えております。今回は自動車システム開発への活用をはかったシステムですが、これを応用して交通事故状況の再現について利用できないか、といった研究にも着手しております。自動車産業は、我が国がこれからも世界を牽引する重要な産業のひとつです。また、自動運転車や電気自動車など、現在の自動車は走るコンピュータでもあります。自動車をはじめとする様々な産業に対して、これからの情報システムの果たす役割は、さらに大きいものとなっていくかと思われまます。これからも学生たちとともに、また情報システム学会の皆様とともに、人と社会のための情報システム研究を進めていきたいと考えております。

今回の受賞を励みとして、今後も本分野の発展の一助となるよう努めてまいります。この度は誠にありがとうございました。情報システム学会の皆様のご発展をお祈り申し上げます。